

窓口支援事例 【大阪府 知財総合支援窓口】

企業情報

株式会社小西金型工学			
所在地	大阪府東大阪市中石切町 6-4-47		
ホームページ URL	http://konishikanagata.sakura.ne.jp/		
設立年	1968 年	業 種	製造業
従業員数	11 人	資本金	1,000 万円

企業概要

当社は長年の経験・知識を生かし、単に発注元の仕様に合わせるのみでなく、全体工程を考慮して自動化プレス加工（順送型）ができるような金型を提案する技術を保有しております。また、近年金型業者の廃業が多いことから、他社が製造した金型のメンテナンスや改造・改良も引き受けられるノウハウを保有しております。

さらに、経済産業省 2011 戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン)採択され、CFRP のプレス加工技術を開発しております。その他にも大阪ものづくり優良企業賞 2009 大阪の元気！ものづくり企業や、2010 KANSAI モノ作り元気企業 100 社に選ばれ、第 4 回ものづくり日本大賞を受賞しております。

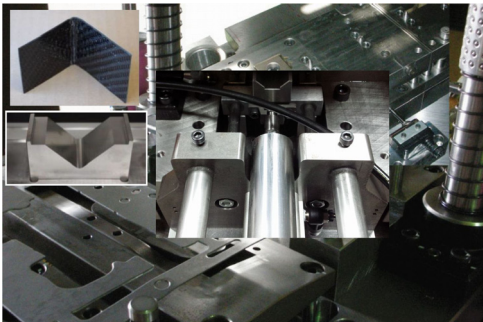


自社の強み

当社のプレス金属金型は製作総数 1 万以上、半世紀以上の経験・実績。独自開発の VE (Value Engineering) 工程短縮化技術のご提案。また、企画・設計段階、試作から量産まで通して、工程の短縮、低コスト提案、省力化、生産性の向上、環境も配慮し、トータルコストバランスを含め、コンカレント生産加工技術システムが強みです。

一押し商品

当社は金型による加工と機械加工を同時に行うことが出来る全く新しい金型技術、『新ハイブリッド金型』を開発しました。従来では機械加工と金型の複数工程が必要であった加工をプレス機 1 台で加工することが可能となり、あらゆる複雑形状の製品でも、顧客のプレス機に合わせた金型を製造することができます。また、自動運転への対応など大幅な工程短縮に貢献します。これらの提案により、コスト削減化、社会貢献、雇用創出など顧客の利益増大に寄与できます。これが、全く新しいハイブリッド構造の金型・商品名コーニッシュ(商標登録第 5675688 号)です。



知財総合支援窓口活用のポイント

窓口活用のきっかけ

同社は、マイドームビジネスフェスタ 2014 に出展されていたところお話させて頂いた際、商標取得後今までに無い顧客獲得につながったとのことで、ブランディングに大変興味を持たれておりました。そこで、窓口機能強化事業からブランド・プロダクトデザイン系の専門家と大阪府サポートチームを結成して訪問支援させて頂いたことがきっかけになりました。

最初の相談概要

同社は、過去に大手企業等からの取引で、ノウハウともいうべき金型を不当に回収されるなどの苦い経験を得て、今後、同社のノウハウを公開せずに、同社の強みを取引先に分かって頂くために展示会等での出品、チラシや広告を如何にしたらよいかについてブランド・プロダクトデザイン系の専門家と支援を行いました。

その後の相談概要

同社と大手企業との取引の際、取り交わす秘密保持契約については、取引や知財について経験豊富な企業 OB と、また不正競争防止法に強い事務所の弁護士を活用しながら、如何に同社のノウハウを公開せず有利に契約を行えるか、マンツーマンで指導を行ってきました。

窓口を活用して変わったところ

同社の取締役統括部長は、営業をメインに取引先と一番接触する機会が多いので、如何に自社の強みをアピールしながら、ノウハウに関する重要な情報は開示せず秘密保持契約等でしっかり取り決めを行うことの重要性について理解して頂き、知財に関する契約等に対して前向きに対応して頂けるようになりました。

これから窓口を活用する企業へのメッセージ

当社は他社にない金型に関するノウハウ・技術を持っており、徹底したクローズ戦略を取っています。そこで、ノウハウ・技術を如何に守れば良いか迷っておられる方は、自社の強みを把握し、他社に流出しないよう独自技術を秘密保持契約等で守ることが重要です。

窓口担当者から一言 （氏名：大澤 真一）



同社は、ものづくり日本大賞等を数々受賞されており、経営者自ら技術開発に取り組み、製品開発に対する妥協を許さなかったからこそそのたまものと思います。今後、益々国内回帰する企業も多く、過去のノウハウ流出のような事態にならないよう、しっかりしたノウハウ管理が重要になると思います。取引企業で、ノウハウ流出を懸念されている企業の方は是非窓口を利用してください。